

達ノ堂
愛宕神社

大分県日出町



生目神

「眼病の神」の《生目(いくめ・活目とも書く)神社》も広く信仰の対象になっていることは御存知の通りです。「眼病に靈験あらたかである」と言うことで、庶民の信仰を集めています。また、保食神(ウケモチノカミ)は、食の起源とされる神様で、食物神とされています。ここには食物を料理するという意味も含まれており、広くお寿司屋さんの神様としても知られています。



お地蔵様

お地蔵様の地は大地を意味するといわれます。大地は様々な物を生み出します。生活に必要なもの、または金銀財宝。お地蔵様は、これらのものを司る神であったのです。そしてお地蔵様は今日でも私たちに様々な恩恵を授けてくれる身近で尊い神様です。安産・健康・長寿・知恵・豊作・求財など様々なご利益があるといわれています。



春季大祭

およそ千二百年前、この地を巡錫された行基菩薩が中興したといわれる愛宕神社では、中世鎌倉時代には「愛宕勝軍地蔵尊」を祀り、ひろく人々の崇敬を受けていました(勝軍地蔵は軍神として尊信される地蔵菩薩で、武家の間で信仰されていきました)。また、豊後豊前の愛宕神社宗社として全国に知られ、現在でも、春季大祭では護摩焚き、秋季大祭には神樂の奉納などが行われ、参道には露店が並ぶ賑やかなお祭りに多くの参拝者が訪れます。



秋季大祭



生目神

「眼病の神」の《生目(いくめ・活目とも書く)神社》も広く信仰の対象になっていることは御存知の通りです。「眼病に靈驗あらたかである」と言うことで、庶民の信仰を集めています。また、保食神(ウケモチノカミ)は、食の起源とされる神様で、食物神とされています。ここには食物を料理するという意味も含まれており、広くお寿司屋さんの神様としても知られています。



地蔵堂



社務所



奉納



お地蔵様

お地蔵様の地は大地を意味するといわれます。大地は様々な物を生み出します。生活に必要なもの、または金銀財宝。お地蔵様は、これらのものを司る神であったのです。そしてお地蔵様は今日でも私たちに様々な恩恵を授けてくれる身近で尊い神様です。安産・健康・長寿・知恵・豊作・求財など様々なご利益があるといわれています。

宝永二年(西暦一七〇五)この附近の村人の失明した男がこの社を崇敬し、その靈驗により開眼したという奇蹟があり、時の三代日出藩主で名君の誓が高かった木下俊長公は、このことを幕府に報告、幕府の儒官・人見竹洞に碑文を依頼し、「誓者放明碑」(失明者が開眼したいわれの碑)を境内社殿の右側に建立しました。このことから、当時江戸でも当社の靈驗は評判だったといわれます。

誓者放明碑



愛宕大権現は、円海寺の奥の院として豊後豊前の愛宕神社宗社として全国に知られるようになりました(高塚地蔵も当社から分祀されたといわれています)。

慶長六年(西暦一六〇二)、日出初代藩主木下延俊公(豊臣秀吉の妻・北政所の甥)が日出藩三萬石の領主として入国しました。その居城の鳴谷城(現在の日出小学校)がその跡が慶長七年に完成すると、当社が鳴谷城の鬼門(東北)に当たるところから、日出城の守護神と崇敬し、神護寺の安光寺を城内の須崎に移転し愛宕山円海寺(現在の蓮華寺、日出藩の祈禱寺と定める)とし、愛宕大権現に寺領を奉納しました(慶長二十年六月)。それ以来円海寺は、当社派修験(真言宗山伏)の豊後、豊前二カ國の袈裟頭(地方本山)として、配下山伏一、二七院を三百余年にわたって支配してきました。

また、奈良時代の末にはこの地を巡錫された行基菩薩がこの社の荒廃をなげき中興されたとも伝えられています。このことから当社は豊後国において最初に建立された愛宕神社として広く人々の崇敬をうけています。

愛宕神社は、古くは達ノ堂愛宕大権現とよばれ、祭神は伊弉冉尊(軻遇津知命)の二神であるが、中世より愛宕勝軍地蔵尊を祀ると伝えられています。

達ノ堂 愛宕神社の由来

拝殿



春季大祭 2月第4日曜日
秋季大祭 9月第4日曜日
例祭 毎月4日・14日・24日



●車でご参拝の方は、国道213号線から表参道又は、大神駅前の道路をご利用下さい。

つじ
達の堂 愛宕神社

大分県速見郡日出町大神932番地

☎0977-72-5417